

帰

還



イラスト：池下章裕氏提供

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2010年に帰還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」の後継機です。今回は培った経験を活かしながら、太陽系の起源・進化と生命の原材料物質を解明するため、C型小惑星「Ryugu」を目指し、現在、探索、サンプル採取のミッションを終え、帰還ため地球に向かっております。「Ryugu」はS型小惑星のイトカワと比べるとより始原的な天体で、同じ岩石質の小惑星でありながら有機物や含水鉱物をより多く含んでいると考えられています。地球をつくる鉱物、海の水、生命の原材料物質は、太陽系初期には原始太陽系星雲の中で密接な関係を持っていたと考えられており、採取したサンプルを分析し、太陽系空間にあった有機物や水がどのようなものであったのか、またどのように相互作用し共存してきたかを探ることで、生命の起源にも迫ることができます。

この壮大なミッションに日本分光グループも参加しており、先端光技術を通じて次世代へ期待を繋ぎます。



国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
相模原キャンパス 地球外試料キュレーションセンター (ESCuC) 設置

繋ぐ

JASCO
BUNKOUKEIKI